

(岩本理事)

●事業報告

1) 第 43 回年次学術集会

1. 会 長 堀田 饒（名古屋大学第三内科）
2. 会 期 平成 12 年 5 月 25・26・27 日
3. 会 場 名古屋市（名古屋国際会議場）
4. 参加者 6,005 名

1. 会長講演

1. 自分史—糖尿病と歩み，患者から学んだ 35 年

2. 特別講演

1. 1. 糖尿病の予防は可能か
2. 他 2 題

3. 招待講

1. 1. Type2diabetes:from epidemiology and genetics to prevention
2. 他 5 題

4. 基調講演

1. 糖尿病患者の立場から医療従事者の皆様へ

5. 鼎 談

1. Message to the new millennium—21 世紀の糖尿病学に期待するもの

6. メッセージ

1. 糖尿病療養指導士認定制度の発足と活動—Q & A—

7. 教育講演

1. 1. 糖尿病性大血管障害形成に関与する細胞群
2. 他 20 題

8. パネルディスカッション

1. 1.21 世紀に向けて目指す糖尿病治療—現状と展望—
2. 他 3 題

9. シンポジウム

1. 1. インスリン抵抗性と糖尿病—病態・成因・対応
2. 他 3 題

10. ワークショップ

1. 1. リサーチ最前線
2. 他 3 題

11. 学会賞受賞講演

1. ハーグドーン賞

1. NOD マウスの開発と同モデル動物を用いた 1 型糖尿病に関する研究

2. リリー賞

1. インスリン作用における PI-3 キナーゼとその下流のエフェクター分子の機能に関する研究
2. 発生工学を用いた 2 型糖尿病発症の分子機構の解析

12. 一般口演

1. 416 題

13. ポスター

1. 765 題

14. 誌上発表

1. 26 題

2) 出版事業

1. 学会誌「糖尿病」は第 43 巻 4 号～第 44 巻 2 号およびサブルメント 1 を発行

2. 糖尿病患者向け指導書

1. 糖尿病食事療法のための食品交換表

1. 第 5 版 400,000 部発行

2. ポケット版食品交換表

1. 増刷なし

3. 糖尿病治療のてびき

1. 50,000 部発行

4. 糖尿病性腎症の食品交換表

1. 10,000 部発行

5. 糖尿病食事療法のための食品交換表 CD-ROM 付

1. 2,000 部発行

3. 医師, コ・メディカル向け指導書

1. こどもの糖尿病・サマーキャンプの手引き

1. 増刷なし

2. 「食品交換表」を用いる糖尿病食事療法指導のてびき

1. 増刷なし

3. 糖尿病療養指導の手引き

1. 4,000 部発行

4. 糖尿病治療ガイド 2000

1. 40,000 部発行

3) 第 35 回「糖尿病学の進歩」

1. 世話人 伊藤千賀子（広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター）
2. 会 期 平成 13 年 2 月 23・24 日（金・土）
3. 会 場 広島国際会議場，広島厚生年金会館
4. 参加者 3,175 名

1. 第 1 日目

1. A 会場（コメディカル向け）
 1. レクチャー
 1. 糖尿病学の疫学
 2. 他 6 題
 2. シンポジウム
 1. 糖尿病の管理（2 型糖尿病を中心）－食事療法と運動療法の理論と実際
2. B 会場（医師・コメディカル向け）
 1. レクチャー
 1. 糖尿病戦略における医療哲学
 2. 他 6 題
 2. シンポジウム
 1. ADL を保つための老年者糖尿病管理
3. C 会場（専門医師・研究者向け）
 1. レクチャー
 1. 糖尿病学の進歩 Up-to-Date (Overview)
 2. 他 10 題
 2. シンポジウム
 1. 糖尿病と遺伝子

2. 2 日目

1. A 会場（コメディカル向け）
 1. レクチャー
 1. 糖尿病性合併症の管理
 2. 他 4 題
 2. シンポジウム
 1. 糖尿病の管理（2 型糖尿病を中心に）－薬物療法による糖尿病管理
2. B 会場（医師・コメディカル向け）
 1. レクチャー
 1. 糖尿病性合併症の管理
 2. 他 4 題
 2. シンポジウム
 1. 効率的な一次予防のあり方
3. C 会場（専門医師・研究者向け）
 1. レクチャー

1. 酸化ストレスと糖尿病における血管障害
2. 他 5 題
2. シンポジウム
 1. 倫理面からみた遺伝子研究のあり方

4) 地方会活動

北海道，東北，関東甲信越，中部，近畿，中国・四国，九州の 7 支部でそれぞれ学術集会が開催された。

5) 分科会活動

第 15 回日本糖尿病合併症学会が平成 12 年 10 月 21・22 日（土・日），村勢敏郎会長のもと，日本都市センター会館で開催された。参加者は 516 名だった。

6) 糖尿病週間

平成 12 年 11 月 6 日（月）～12 日（日），第 36 回全国糖尿病週間の行事が一斉に行われた。

7) 国際糖尿病連合会議

第 17 回 IDF 会議が 2000 年 11 月 5～10 日，メキシコシティにおいて開催された。また，IDF General Council Meeting が 11 月 8 日に開催され，赤沼理事長，堀田・清野・小林理事が出席した。IDF-WPR Regional Council Meeting が 7 月 21 日と 11 月 7 日に開催され，堀田理事らが出席した。

8) 普及・啓発・後援事業

平成 12 年度は以下の共催，後援を行った。

1. 第 36 回全国糖尿病週間の共催
 1. 期 間 平成 12 年 11 月 6 日～12 日
 2. テーマ 「正しい食事」
2. 日本糖尿病協会への協力
 1. 「さかえ」および「つぼみ」発行の企画等
3. 第 3 回糖尿病地域医療研究会
 1. 平成 12 年 4 月 22 日
4. インターアカデミーパネル（IAP）2000 年会議
 1. 平成 12 年 5 月 15～18 日
5. 全国腎臓病協議会 2000 年度全国大会
 1. 平成 12 年 5 月 28 日
6. 第 10 回糖尿病大血管障害記念国際シンポジウム
 1. 平成 12 年 7 月 27～29 日

7. 糖尿病 Up to Date 賢島セミナー
 1. 平成 12 年 8 月 26・27 日
8. 第 17 回腎不全対策を語るつどい
 1. 平成 12 年 9 月 10 日
9. 第 17 回公開シンポジウム「糖尿病」－その発症機序から予防まで
 1. 平成 12 年 10 月 21 日
10. 糖尿病シンポジウム 2000
 1. 平成 12 年 10 月 22 日, 11 月 25 日
11. 糖尿病予防キャンペーン
 1. 平成 12 年 10 月 28 日, 11 月 25 日
12. 第 16 回糖尿病と妊娠に関する研究会
 1. 平成 12 年 12 月 2 日
13. 第 12 回分子糖尿病学シンポジウム
 1. 平成 12 年 12 月 2 日
14. 第 2 回アジア分子糖尿病学シンポジウム
 1. 平成 12 年 12 月 8・9 日
15. Dr. Martin Silink 講演会
 1. 平成 13 年 2 月 14 日

●庶務報告

1) 総会

平成 12 年 5 月 25 日, 名古屋国際会議場において第 43 回通常総会を開催した。平成 11 年度事業報告、庶務報告, 収支決算報告が承認され, また平成 13 年度事業計画および予算、新役員が承認がされた。第 45 回会長に河盛隆造学術評議員が選出・承認された。

2) 評議員会および学術評議員会

平成 12 年 5 月 24 日にそれぞれ開催された。

3) 理事会

定例理事会は平成 12 年 5 月 24 日, 11 月 27 日, 臨時理事会は 12 年 5 月 26 日の合計 3 回開催された。

●会員状況 (平成 13 年 3 月 31 日現在)

1) 役員等

1. 役員
 1. 理 事 17 名 (11 年度末 17 名, 5 月承認)

2. 監 事 2名 (11 年度末 2名, 5月承認)
2. 学術評議員 529名 (11 年度末 525名, 5名追加, 1名退会)
3. 評議員 88名 (11 年度末 88名)

2) 会員等

1. 名誉会員 17名 (11 年度末 18名, 物故者 1名)
2. 正会員
 1. 12 年 3 月末日会員数 11,425 名
 2. 12 年度新入会 1,235 名
 3. 除籍より復活 5 名
 4. 退会 412 名
 1. 退会内訳
 1. 会費未納 171 名
 2. 希望退会 227 名
 3. 物故者 14 名
 5. 正会員 現在数 12,253 名 (828 名増)

3) 賛助会員

1. 12 年 3 月末日会員数 37 名
2. 12 年度新入会 1 名
3. 12 年度退会 2 名
4. 賛助会員 現在数 36 名 (1 名減)

4) 物故会員

1. 名誉会員
 1. 宮尾 定信
2. 正会員
 1. 石塚 人士
 2. 板橋 博
 3. 伊藤 竜雄
 4. 片倉 富芳
 5. 金子 重敏
 6. 上井 一男
 7. 川西 雅博
 8. 河野 圭二
 9. 正田 博幸
 10. 田村 勝洋

11. 古田 雄彦

12. 三宅 寛治

13. 宮崎 敬彦

14. 村上 映

(敬称略, 連絡のあった方のみ)